

# 幸福の黄色いハンカチ

観賞日 2018・4・9

制作 1977年  
配給 松竹  
原作 ピート・ハメル  
脚本 山田洋次、朝間義隆  
監督 山田洋次  
出演 高倉健（島勇作）、倍賞千恵子（勇作の妻・光枝）、桃井かおり（小川朱美）  
武田鉄矢（花田欽也）

## 【あらすじ】

ひよんなことから同乗者となった三人（刑務所帰りの中年男、博多育ちの軽薄男、川崎育ちの若い女）が雄大な北海道の自然を背景に赤いファミリアで大移動。

網走を振り出しに、阿寒、帯広を経て別れそうで別れない三人。最終目的地の夕張に近づくとつれて、徐々に語られる刑務所帰りの男の過去。最初、別々であった三人の心が次第に打ち解けてくる。

夕張の炭住で、風にたなびく無数の黄色いハンカチを見た瞬間、一つになりかけていた三人の気持ちが完全に一つになった。（一つになったもの：三人の気持ち、中年夫婦の気持ち、若い二人の気持ち）

## 【解説】

■日本映画を代表する、巨匠山田洋次とカリスマ高倉健によるロードムービー

- ・山田洋次：1954年松竹入社（同期に大島渚、同年代に篠田正浩、吉田喜重）寅さんシリーズ、民子三部作（家族・故郷・遙かなる山の呼び声）学校四部作、藤沢周平原作時代劇三部作
- ・高倉健：東映退社後で転機を迎えていた時代。倍賞千恵子とは初共演
- ・ロード・ムービーの代表作
- ・日本映画：家族（山田洋次監督・1970年）、あなたへ（高倉健遺作・2012年）
- ・外国映画：オズの魔法使い（1939年）、イージーライダー（1969年）
- ・余興で、山田組の渥美清、太宰久雄、三崎千恵子も出演
- ・ラストシーン

絵になるラストシーン（台詞無し、抱擁シーン無し）

再会と再生の物語

■第1回日本アカデミー賞各賞を総なめ

作品賞、監督賞、脚本賞、主演男優賞（高倉健）、助演男優賞（武田鉄矢）  
助演女優賞（桃井かおり）

■こぼれ話

夕張市内のロケ地は「幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば」として保存  
来訪者が黄色い付箋に幸福のメッセージを書いて壁に貼り付け